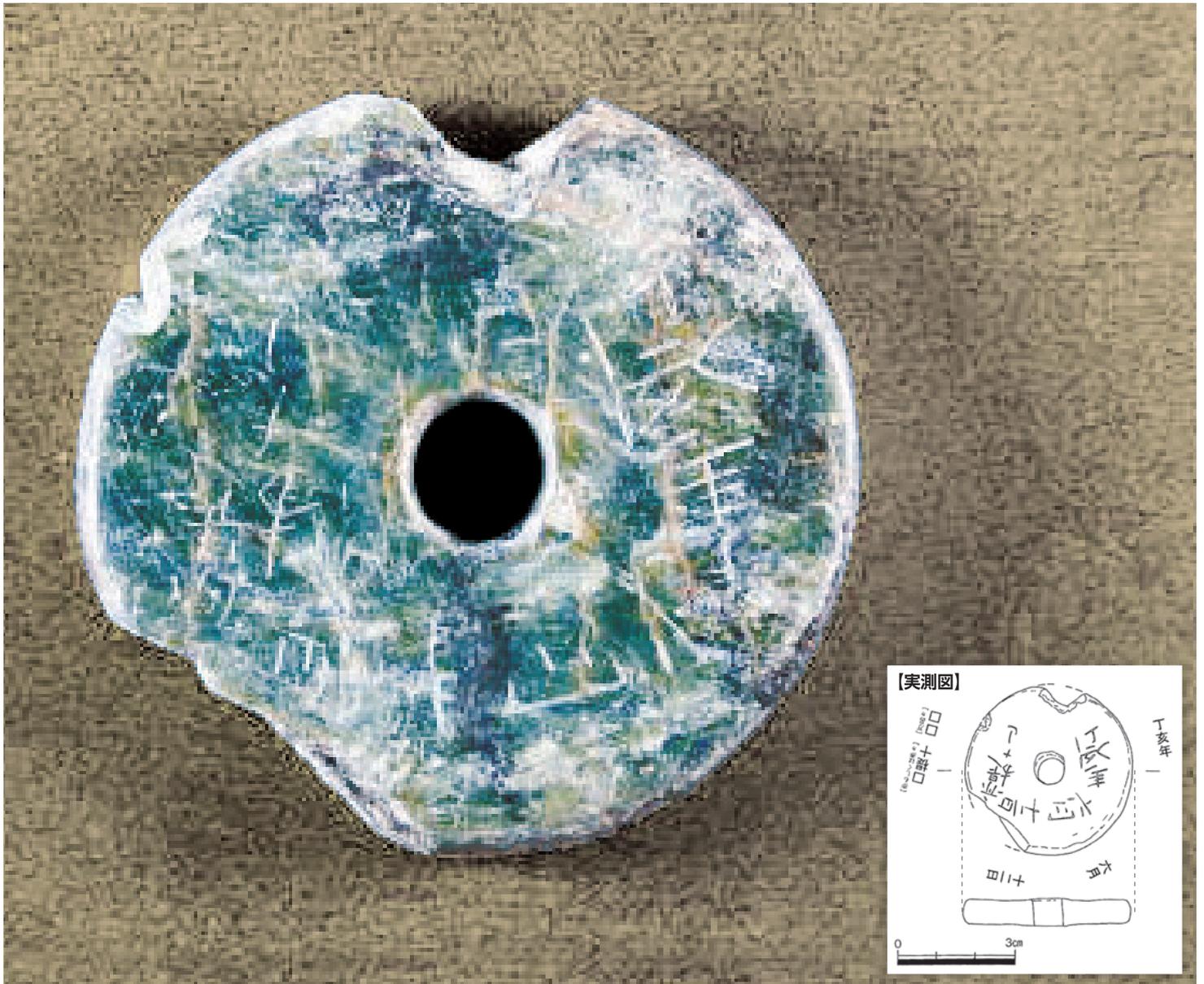


おぎ市議会だより

2016.11月号
Ogi city



表紙 小城中学校改築時に出土した刻書紡錘車 こくしょぼうすいしゃ

ニュース／9月議会

- 平成28年度
一般会計・特別会計補正予算……………P 2
- 主な議案・主な事業……………P 3
- 会議結果、賛否一覧……………P 4
- 常任委員会報告……………P 5
- 平成27年度決算審査報告……………P 6～7
- 一般質問……………P 8～14
- 議会改革特別委員会を設置……………P 15
- 議会報告会……………P 16～17
- 第2次総合計画……………P 18
- 議員活動あれこれ、お知らせ
表紙の紹介……………P 19
- 地域の学び舎……………P 20

平成28年度

一般会計・特別会計・企業会計補正予算を可決

歳入の主なものは、地方交付税および前年度決算に伴う繰越金や、各種事業に伴う国・県支出金、分担金および負担金、諸収入、市債の増のほか、工業団地用地売払いに伴う財産収入の増、臨時財政対策債の減、財源調整としての財政調整基金繰入金の減などである。

歳出の主なものは、小城第5投票所改修工事費、戸籍・住基事務費、国民健康保険特別会計繰出金、地域介護・福祉空間整備推進補助金、林業施設災害復旧費、農地及び農業用施設災害復旧費、農業排水施設維持管理事業、道路橋りょう災害復旧事業、河川災害復旧事業、牛津小学校施設大規模改造事業などである。

また、人事異動等に伴う職員の人件費および大雨災害に伴う予備費を充用した額の補正についても計上している。

平成28年度 9月補正予算の状況

一般会計・特別会計

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計(第4号)	218億5,911万円	3億1,585万円	221億7,497万円
特別会計	91億6,490万円	1,291万円	91億7,782万円
授産場特別会計(第1号)	2,516万円	-	2,516万円
簡易水道特別会計(第1号)	994万円	-	994万円
下水道特別会計(第1号)	23億8,028万円	288万円	23億8,317万円
国民健康保険特別会計(第2号)	62億4,513万円	10万円	62億4,524万円
後期高齢者医療特別会計(第1号)	5億437万円	992万円	5億1,429万円

※単位未満は切り捨てています。

企業会計

会計区分	補正前の額	補正額	補正後の額
水道事業会計(第1号)	5億9,478万円	60万円	5億9,538万円
病院事業会計(第1号)	14億1,321万円	-	14億1,321万円

※単位未満は切り捨てています。

< 一般会計補正予算の主なもの >

事業名	補正予算額	事業名	補正予算額
農地及び農業用施設災害復旧事業	4,272万円	小城第5投票所(織島倉庫)改修工事	592万円
道路橋りょう災害復旧事業	2,981万円	基盤整備促進事業(三日月東部)	300万円
林業施設災害復旧事業	677万円	基盤整備促進事業(三日月町樋口・金田)	190万円
牛津小学校施設大規模改造事業	609万円	地域介護・福祉空間整備推進補助金(介護ロボット等導入支援補助事業)	179万円

首相の直属諮問会議である経済財政諮問会議は、2020年度までに財政健全化に向けた方向を示す。

特に増え続ける社会保障費と地方財政に抑制方策が提案されている。住民サービスを維持していくためにも、地方財政である地方交付税の総額確保を求めて総理大臣をはじめ、関係大臣に送付した。

（第4号）
地方財政の充実・強化を求める意見書

意見書



釘本萬壽美氏が平成28年12月31日に任期満了となるため再度推薦することに同意。

人権擁護委員の推薦

主な議案

(議案第49号)

小城市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員の選出方法が公職選挙法に基づく選出から市長の任命制度に変更され、また会議を機動的に開催できるよう委員の数は現行の半分程度とし、新たに農地利用最適化推進委員が設けられた。

このため、農業委員会の委員及び推進委員の定数を定める必要があり、農業委員の定数が27人から14人に、推進委員の定数は25人と定められた。

(議案第51号)

小城市手数料徴収条例及び印鑑条例の一部改正

個人番号カードを利用して、コンビニで住民票、市税の証明書や印鑑登録証明書の交付サービス実施に伴い、手数料を定めるもの。通常、窓口では

三百円のところをコンビニでは二百五十円。

(議案第71号)

工事請負契約の締結について

平成28年度牛津小学校施設大規模改修事業校舎棟、屋内運動場棟改修工事に伴い、条件付一般競争入札により、中島工務店、エグチ・ビルド共同企業体と契約を締結。屋上防水、外壁・屋内塗装・床・トイレ改修、エレベーター設置などを行い、平成30年度に工事完了予定。契約額は6億9,012万円。

(議案第72号)

工事請負契約の締結について

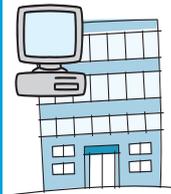
平成28年度桜岡小学校プール改修事業プール建設工事に伴い、条件付一般競争入札で(株)中島工務店が契約の相手方に決定。

25メートル大プール・小プールの本体工事と付属棟(更衣室、トイレ、機械室、倉庫等)の工事及び外構工事を行う。今年度中に工事完了予定。契約額は1

億7,604万円。

主な事業

総務・市民

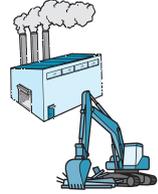


織島倉庫(投票所)の改修工事

592万円

三日月町織島にある第5投票所は、倉庫を一部利用していたが、傷みもひどいことから、倉庫東部分の旧JA店舗部分を活用し、休憩室の改修、トイレの新設で投票環境を整える。

産業・建設



農地及び農業用施設災害復旧事業

4,272万円

平成28年4月21日の豪

雨及び、6月22日からの梅雨前線豪雨によって被災した農地(田・畑)、農業用施設(農道・水路)を原形復旧し、農地・農業用施設の回復を図る。



▲江里山農地
畦畔法面崩落

道路橋りょう災害復旧事業

2,981万円

6月19日～25日の梅雨前線豪雨により被災した道路を原形に復旧し、道路の安全性確保を図る。



▲林道天山線(焼山～江里山間)ガードレール・法面崩落

林業施設災害復旧事業

677万円

6月22日からの梅雨前線豪雨により被災した林道天山線、川内線、3か所の林道の路肩、舗装及び林道敷に堆積した土砂を撤去し、原形復旧する。



▲市道 川原・桑鶴線

会 議 結 果

平成28年 第3回 小城市議会定例会 議決結果 (9月21日)

議案番号	件 名	委員会付託	結 果
議案第48号	工事請負契約の締結について	—	可決 (全員賛成)
議案第49号	小城市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例	産	可決(賛成20: 反対1)
議案第50号	小城市議会議員及び小城市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスター等の作成の公費負担に関する条例の一部を改正する条例	総	可決 (全員賛成)
議案第51号	小城市手数料徴収条例及び小城市印鑑条例の一部を改正する条例	総	可決 (全員賛成)
議案第52号	小城市税条例等の一部を改正する条例	総	可決 (全員賛成)
議案第53号	第2次小城市総合計画の基本構想及び基本計画について	—	可決(賛成20: 反対1)
議案第54号	小城市道路線の廃止について	産	可決 (全員賛成)
議案第63号	平成28年度小城市一般会計補正予算 (第4号)	総・文・産	可決 (全員賛成)
議案第64号	平成28年度小城市授産場特別会計補正予算 (第1号)	文	可決 (全員賛成)
議案第65号	平成28年度小城市簡易水道特別会計補正予算 (第1号)	産	可決 (全員賛成)
議案第66号	平成28年度小城市下水道特別会計補正予算 (第1号)	産	可決 (全員賛成)
議案第67号	平成28年度小城市国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	総	可決 (全員賛成)
議案第68号	平成28年度小城市後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	総	可決 (全員賛成)
議案第69号	平成28年度小城市水道事業会計補正予算 (第1号)	産	可決 (全員賛成)
議案第70号	平成28年度小城市病院事業会計補正予算 (第1号)	文	可決 (全員賛成)
議案第71号	工事請負契約の締結について	文	可決 (全員賛成)
議案第72号	工事請負契約の締結について	文	可決 (全員賛成)
諮問第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	—	適任 (全員賛成)
報告第7号	平成27年度小城市一般会計継続費精算報告書	文・産	承認 (全員賛成)
報告第8号	平成27年度小城市下水道特別会計継続費精算報告書	産	承認 (全員賛成)
報告第9号	専決処分の報告について	文	承認 (全員賛成)
報告第10号	専決処分の報告について	文	承認 (全員賛成)
報告第11号	専決処分の報告について	文	承認 (全員賛成)
報告第12号	専決処分の報告について	産	承認 (全員賛成)
報告第13号	専決処分の報告について	産	承認 (全員賛成)
意見書第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	—	可決(賛成20: 反対1)
発議第1号	議会改革特別委員会設置に関する決議	—	可決 (全員賛成)

付託委員会名 総…総務 文…文教厚生 産…産業建設 —…委員会付託なし

議案等の賛否一覧 (全会一致以外のみ掲載)

平野泰造議長は採決には加わりません

議案番号	議員名	松並	永瀨	西	光岡	富永	諸泉	樋渡	中島	中島	江島	深川	市丸	岸川	上瀧	香月	合瀬	松尾	堤	下村	北島	大坪	
		陽一	和正	正博	実	正樹	定次	邦美	正之	正樹	佐知子	高志	典夫	英樹	政登	チエミ	健一	義幸	克彦	仁司	文孝	徳廣	
議案第49号	小城市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
議案第53号	第2次小城市総合計画の基本構想及び基本計画について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○
意見書第4号	地方財政の充実・強化を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対

常任委員会報告

9月9日の本会議において、各常任委員会に付託された議案審査は、慎重な審査の結果、全議案について可決した。

総務常任委員会 (9月13日)

問 議案第51号小城市手数料徴収条例及び小城市印鑑条例の一部を改正する条例について、住民票、印鑑証明、所得の証明などの手数料は300円であるが、コンビニで取れば250円である。住民票等のコンビニ発行はどくなっているのか。

答 用紙代などを含めて全国一律で定められた金額(123円)である。平成29年1月1日から施行。



▶コンビニ発行に必要な個人カード

コンビニ交付実施店舗

事業者名	店舗数 (全国) 平成28年3月末	店舗数 (県内)	店舗数 (市内)
セブン-イレブン	18,594	183	9
ローソン	11,565	66	5
ファミリーマート	11,685	80	1
ミニストップ	2,151	17	0

※ミニストップは順次導入予定

文教厚生常任委員会 (9月15日)

問 平成28年度小城市一般会計補正予算(第4号)で地域介護・福祉空間整備推進補助金について、今回補助するのは2事業所ということだが、補助対象となるのはいくつあって、募集はどうしたのか。また、1年限りの補助ということだが、今後需要が増えると思うので継続する見込みはないのか。

答 対象となるのは49事業所で、全ての事業所にお知らせをして、2事業所から申請があった。国の補助制度が来年以降分については話はあっていない。市単独での補助も、今のところ考えにくい。



▲導入予定の介護ロボット

問 議案第72号工事請負契約の締結について、桜岡小学校プール建設工事の内容は、

答 工事の概要は造成工事、25m6コースのプール、小プール、外構工事や更衣室、トイレ等の管理棟である。

産業建設常任委員会 (9月14日)

問 議案第49号小城市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例について、農業委員定数14人、農地利用最適化推進委員定数25人どのように確保するのか。

答 今回の改正では、青年を入れること、年齢と性別はかたよらないよう強く指導されている。女性農業委員の登用を強く働きかけたい。農業委員の配分については旧町毎の生産組合、区長会、農業団体等説明、依頼していきたい。農業委員の条件となる半分以上は認定農業者。年齢は均等に、女性の方にもお願いし、推進委員も同様に決定していく。



▲農業委員による農地パトロール

問 空き家等対策推進事業の32万4千円の経費は、防護ネット等で3回分ということだが、3回分なのか、3軒分なのか。掛かった経費は所有者からいただくということだが。

答 基本的には1家屋1回という考え方でいる。消耗品の防護ネット及び保護材等は市の所有物になるので請求しない。ただ防護ネットを設置するに当たっては専門の業者に委託を想定しており、その経費について所有者に負担を求める。

決算審査特別委員会報告

平成28年第3回定例会において、決算審査特別委員会に付託された、平成27年度小城市一般会計歳入歳出決算認定他7議案については、9月23日から10月5日まで委員会を開催し、いずれもこれを「認定すべきもの」と決定した。

適正な財源のあて方は

問 多久導水路の工事費や芦刈町新村地区のポンプ設備補修で見られるように、当初は地方債を活用する予定であったものが、地方債を借りずに平成28年度から一般財源をあてる計画。地方債が借りられるのであれば活用すべきでは。

答 当初は地方債を活用する予定であったものが、地方債を借りずに平成28年度から一般財源をあてる計画。地方債は後年度に償還が必要になる。平成28年度の当初予算から将来の財政に負担となる交付税の算入割合の低い地方債は極力借りないとの考えに立って予算編成を行った。

自主財源確保と財政の見通しは

問 中期財政計画が平成25年度に示されているが、その後予定されていない事業や、施策が発生しており、合併特例債の平成27年度現在での活用状況を検証して、必要に応じて見直しを行うこと。小城市の財政が依存財源に頼りすぎていることにより弱体化している。今後の予算編成にはそこをよく勘案して次年度予算編成に臨んでもらいたい。

答 合併特例債の小城市の上限額は、公共施設整備事業や基金積立合わせて239億1千万円となっており、この事業費の95%にあたる227億1千万円が発行限度額である。発行期限も5年間延長されて平成25年度にまちづくり計画の変更を行って平成26年度から31年度までの合併特例債の発行が可能になっている。小城市では毎年財政計画のローリングを行い、翌年度以降の事業等について確認を行っているが、その中でも合併特例債の活用についても検証や見直しを行っている。歳入については依存財源が歳入全体の約3分の2を占めており、市の自立性を高めるには更なる自主財源の確保と強化が必要である。今後の財政運営としては、経常的経費の縮減など歳入に見合う歳出、いわゆる収支のバランスを取りながらやっていくことが課題になっており、コスト意識を順守したスクラップアンドビルドの考え方の徹底を行うなど一層財政健全化に向けた取り組みは重要であると思っている。

ふるさと納税の基金化の考えは

問 ふるさと納税の基金が、各事業に振り分けられ各基金の取り崩しを少なくして財政的に助かっている。しかし、今後の地方交付税の削減を考えると、納税者の意向を尊重しながら、ふるさと納税の基金を基金として積み立てるべきではないか。

答 自主財源については厳しい状況。これから交付税も削減されてくる。ふるさと納税の基金に

ついては、寄附者の意向を尊重しながら検討したい。

滞納・未収金対策は

問 市税、国民健康保険税との滞納対策について、事前の対処を行うとともに、特に高額滞納者対策については、その縮減に努めること。

答 税負担の公平性を保つために、法令に基づいた滞納整理は行うと共に、納税者の自主納付を推進するため特別徴収の適正な取り扱いや口座振替の推進、コンビニ収納等の納付環境の整備や効率的な収納体制の整備に努めながら、市民から信頼される徴収業務を行うことで収納率の向上を目指している。督促状や催促状の発送など早期かつ確かな働きかけを行って、滞納のきっかけを作らない対策を取っている。累積滞納額の増加を防ぎ滞納額の縮減を図っていくために、過年度分の滞納対策を進める一方で、現年度分の徴収率向上に係る対策を強化し、滞納額の縮減に取り組んでいきたい。

ICT教育をどう生かすか

問 ICT教育を導入して一定期間経過するが、その効果を示すべきではないか。

答 実績として示すのは難しいが、子どもに対するアンケート調査では、一定の効果は出ているととらえている。

問 市内だけではなく、県内や全国にアピールし、定住促進にも生かすべきではないか。

答 県内の学校関係者には報告しているが、他部署とも連携し、もつと対外的にアピールしていく。

6次産業化とふるさと納税

問 ふるさと納税は市民の仕事起こしにつながっており、一定の効果が得られている。6次産業化の推進も商品化までは事業として成り立っているが、販売ルートの確立が不十分であり、6次産業化産品をふるさと納税とタイアップして商業ベースにつなげることはできないか。

答 現在、補助を行っている団体に相談して、商品化に結びつけた産品については、ふるさと納税とのタイアップの相談をし、補助団体及び関係各課と連携、相談をしながら、6次産業化の進展に取り組む。

ゆめぷらっと小城の入札は

問 ゆめぷらっと小城の建築工事の入札の予定価格は、なぜ予算を超えて決定したか。また、このような誤りが再び生じないように、予定価格調書を見直すことは。

答 建築工事の設計金額を予定価格とした。予定価格調書の見直しを検討したい。



▲設計変更されたゆめぷらっと小城の現地視察

平成28年 第3回 小城市議会定例会 決算議案議決結果 (10月7日)

議案番号	件名	委員会付託	結果
議案第55号	平成27年度小城市一般会計歳入歳出決算認定について	決算審査特別委員会	認定(賛成19・反対2)
議案第56号	平成27年度小城市授産場特別会計歳入歳出決算認定について		認定(全員賛成)
議案第57号	平成27年度小城市簡易水道特別会計歳入歳出決算認定について		認定(賛成20・反対1)
議案第58号	平成27年度小城市下水道特別会計歳入歳出決算認定について		認定(賛成20・反対1)
議案第59号	平成27年度小城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定(賛成20・反対1)
議案第60号	平成27年度小城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認定(賛成20・反対1)
議案第61号	平成27年度小城市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について		認定(全員賛成)
議案第62号	平成27年度小城市病院事業会計決算認定について		

議案等の賛否一覧 (全会一致以外のみ掲載)

平野泰造議長は採決には加わりません

議案番号	議員名	松並陽一	永渕和正	西正博	光岡実	富永正樹	諸泉定次	樋渡邦美	中島正之	中島正樹	江島佐知子	深川高志	市丸典夫	岸川英樹	上瀧政登	香月チエミ	合瀬健一	松尾義幸	堤克彦	下村仁司	北島文孝	大坪徳廣	
議案第55号	平成27年度小城市一般会計歳入歳出決算認定について	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第59号	平成27年度小城市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	平成27年度小城市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対



樋渡 邦美

来春の市長選挙における 市長自身の心は

市長

慎重に考えたいし、まだ結論が出ていない状況

樋渡 初代市長としてこれまでの行政運営と未来に向けた小城市の課題は。

市長 これまでの行政運営として、①4つの庁舎

の一本化とその跡地活用。②教育環境の充実、施設整備も大事だが、特に中身の充実について図る。③小城市の中心市街地の活性化整備。④下

況の変化にどう行政、地域が対応、対処していくかが大きな課題と思う。

樋渡 前回選挙での6つの公約の展開は。

市長 ①市民との対話・語る会の充実。

農林水産の振興、企業誘致、市営住宅の整備等。

今後の課題

としては①少子・高齢化に伴う地域の維持。②ひとり親家庭の増による子供の貧困対策。

③核家族の中での空き家問題等が社会状

況の課題として、①少子・高齢化に伴う地域の維持。②ひとり親家庭の増による子供の貧困対策。

況の課題として、①少子・高齢化に伴う地域の維持。②ひとり親家庭の増による子供の貧困対策。

▲行政運営をつかさどる小城市役所



松尾 義幸

小中学校にエアコン設置 の考えは

教育長

一步踏み込んで
エアコン設置を検討していく

松尾 ①教育委員会は、「扇風機でいく」と決めているが、猛暑が続く中で再検討が必要では。

②県内自治体の小中学校普通教室のエアコン設置状況が、平成25年12月、私の一般質問時とどう変化しているか。

教育長 ①やっぱりこのまま扇風機でいいのかと、意見を交わしながら現在に至っている。

②1市3町で設置されていた。それが4市3町増え、現在エアコン設置完了は、5市6町。

③オリジナリティーあふれる商店街づくり。

④6次産業を推進したスローライフ。

⑤スマートICで地域の資源みがき。

⑥企業誘致へ全力投球。これらについてはしっかりと取り組み、展開をしてきた。

⑦核家族の中での空き家問題等が社会状況の課題として、①少子・高齢化に伴う地域の維持。②ひとり親家庭の増による子供の貧困対策。

日、桜岡小で19日続いて

教育長 扇風機を設置して5年経過した今、急激な環境の変化の中で、もう一步踏み込んで、教育委員会と協議を進めていく。

市長 そろそろ改善を私自身思っている。教育委員会と協議を進めていく。

松尾 小・中学校の普通教室が117ある。幾らの予算が必要か。

教育長 1教室に2台設置した場合、約2億円が必

要。3分の1の補助があり、補助以外の75%に地方債が充当できる。



▲扇風機が並ぶ、普通教室（牛津中）



永瀨 和正

第2次総合計画での 商・工業の振興策は

市長

優良企業の立地促進、
商店街の活性化に取り組む

永瀨 ①まちづくりにつ

いての市民アンケートの1位は、市内で働く職場が少ない。力を入れるべき施策は商工業の振興とあわせて就労の場の確保。計画の中では具体的な施策が見えない。市民ニーズにどう応えるか。②商工業の実態は表のとおり衰退している。市民が市内に就労の場を求めているのは明白であり、どう取り組むか。

永瀨 小城虫の郷ファクトリーパークの工場団地

約2・9haは完売したが、総事業費約3億4千万円に対して土地売却収入は約2億1千2百万円。不足の約1億2千8百万円は何か。分譲地内の経費はすべて分譲価格に算入していないのか。

産業部長 差額は、団地

内道路や水道設備、井戸水調査などの費用である。

永瀨 国道34号線に接す

る牛津町乙柳地区の産業用地可能性調査結果をどう生かすか。

市長 個別的な案件とし

て、土地の紹介等を行っ

▼市内の商工業の推移

調査年	商 業			工 業			
	平成14年	平成26年	比 較	調査年	平成14年	平成26年	比 較
商店数	店 550	店 348	減 202	事業所数	事業所 81	事業所 56	減 25
従業員数	人 3,229	人 2,347	減 882	従業者数	人 1,709	人 1,418	減 291
商品販売額	億円 715	億円 579	減 136	製造品出荷額	億円 341	億円 269	減 72

資料：商・工業統計調査

ていきたい。



諸泉 定次

小城市空家等対策協議会 の動向は

市長

10月に初会議での準備を進めている

諸泉 昨年12月議会で小

城市空家条例が可決され、4月より10名の委員での小城市空家等対策協議会が設置されたが、どのような動向か。

また、危険家屋とされる特定空家の対策と、国・県の不備な面の要請はされているか。

市長 小城市空

家対策協議会は、区長会、土地家屋調査士会、建築士会、警察・消防等の10名の委員で、10月に初会議を予定している。空き家の状況



▲危険家屋とされる特定空き家

把握と対策計画の策定と

実施、個別案件の措置等の協議を想定している。現在、委託業者に発注し9月より現地調査を開始した。

特定空き家の処理費用

は国の支援制度はある

が、市の負担もあり制度の不備で解決できる状況になく、市長会で要望している。

諸泉 消防署の2年毎の調査では平成27年度では427件と2年前より53件減った。原因は。

建設部長 市では水道閉

栓データで、2018棟を空家として把握しており、現在調査中である。

その他の質問

○都市計画と行政区の区

割

○英語教育の義務化と多忙化対策



北島 文孝

市長の自己評価と 反省点は

市長

合併して財政的に強化され
色々事業ができた

北島 具体的な事業と反省点は。

市長 ①教育環境のソフト、ハードを含めた整備ができた。

②庁舎の一本化に伴いそ

れぞれの跡地活用をすることができた。

③小城市には核となる中心市街地が2つあるが、空洞化対策として、一つは国の事業を活用して終え、もう一つも課題はあるが取り組むべきと思う。

反省点については市内には保健福祉センターが4つあるが人口4万6千人という規模を考えると、建設して日が浅かったため一本化できなかったこと。また下水道事業につ



▲運動公園跡地の現況

いては市内には保健福祉センターが4つあるが人口4万6千人という規模を考えると、建設して日が浅かったため一本化できなかったこと。また下水道事業につ

いては整備後の接続が高齢化で、空き家等の問題点もあり、もう少しコンパクトにできなかったのが反省点の一つである。

北島 運動公園跡地は中止して十数年がたち現在も一部を除けば活用のめどが立っていない。また、山の辺の道も現在通れる状況ではないが、今後の活用は。

市長 中止後、自然環境を残した利活用を図ったが現在に至っている。今後は、保全管理を続けながら福祉施設等の民間活用を図っていく。山の辺の道は防犯的に問題もあり検討する。

いては整備後の接続が高齢化で、空き家等の問題点もあり、もう少しコンパクトにできなかったのが反省点の一つである。



市丸 典夫

市政運営の中で 残された課題

市長

跡地活用は常に考慮しながら
検討をしていく

市丸 3期12年の市政運営の中で残された課題について。運動公園跡地は大きな課題である。土地

開発基金の買い戻しは計画的に進めるべきでは。平成26年、27年は買い戻しがされていない。土地開発基金のままでは、跡地は運動公園以外に活用ができない。

市丸 スマートインターチェンジの用地買収は済んでいるのか。

建設部長 小城市で買収する面積ベースで88%、登記名義人ベースで96%が完了している。

市長 跡地は面積が約13haある。平成25年までに約7ha分を買い戻している。平成26年度からは財政健全化を優先する考えに立ち、中断している。財政見通しの中で年度末に余剰金などが見込める機会があった場

▲どうなる運動公園跡地の利活用

開発基金の買い戻しは計画的に進めるべきでは。平成26年、27年は買い戻しがされていない。土地開発基金のままでは、跡地は運動公園以外に活用ができない。

合、買い戻しを考えたい。

建設部長 佐賀県と協力しながら関係者のご理解がいただけるよう努力していきたい。

市丸 問題はスマートインターチェンジ南の県道拡幅に反対されている方々がおられることだ。どう対応されるのか。

合、買い戻しを考えたい。



西 正博

健(検)診のより良い
あり方についての考えは

市長

受診率向上による市民健康保
持と早期発見だと考える

西 現在実施されてい
る健康診断や検診につい
て、よい部分・必要な項
目については温存しなが
らも、改善も含め、新し
い項目を付加する検討
は、小城市としての利益
のためにも、市民健康の
維持や更なる向上のため
にもよりよい方向性を見
出すことができると考え
る。

さらに精度向上を図れる
と思う。また、自己診断
用に特殊なグローブを配
布している自治体もある。
子宮がん検診には細胞
診で判定されているが、
同じ検体からヒトパピ
ローマウイルス
検査の併用
により、早期
に発見できる
と考える。

福祉部長 県内他市町の
動向や医師会の考えに基
づき、まずは胃がん検診
に、胃カメラによる検査
を選択できるようにする。

聴力検査・聞こえの検
査の導入により、聴力の
低下を早期に発見でき、
認知症予防や医療費の節
約のために効果があると
も言われる。

また、胃の
中に存在して
いるピロリ菌
の抗原抗体を
検査するた
め、健診メ
ニューに追加
したらと、以
前から提言し
ているが。

乳がん検診で行われる
マンモグラフィードの判
定に、超音波による工
コー検査の導入により、



深川 高志

市街地の整備と
体制の確立の現状

市長

今年度は牛津市街地活性化
基本構想の策定中

深川 平成28年度までの
第一次総合計画における
重点施策と位置づけられ
た市街地の整備について
のまちづくり体制は。ま
た、計画的整備及び地域
拠点の形成についての現
状と今後の計画はどう
なっているのか。

市街地におけるまちづ
くり体制の確立について
は、今年の5月20日に牛
津拠点地区の市街地活性
化協議会を設立してお
り、市街地の
活性化にむけ
た構想につ
いてワーク
シヨップ等を
開催している。
地域拠点の
形成につい
て、三日月地
区について
は、本庁方式
で市の中心的
機能が集中し
ており、新駅
の要望もきて
いるが、なか
なか厳しい状
況である。牛津駅の南口
の問題や三日月の新駅に
ついての要望は、毎年J
Rのほうに要望書を出し
ている。

市長 平成19年から23年
までは芦刈地区の都市再
生整備計画に基づいて、
公園整備や道路改良、地
域交流センターの整備改
善、平成22年度から27年
度までは小城市中心市街地
都市再生整備計画による
取り組みを推進してきた。
今年度は、牛津拠点地
区市街地活性化基本構想
の策定に取り組んでいる。



▲牛津駅南の現状と建設中の小城市営住宅



富永 正樹

地域振興につながる
観光の発信は

市長

中部広域内観光のパッケージ
商品の確立も一つの手

富永 小城市の観光と地域振興という観点で、どのようなスタンスの考えか。

市長 観光の質が、物を見るだけでなく、体験型や滞在型に変化している。中部広域エリアでの観光商品のパッケージを確立するのも一つの手ではと考える。

なり指導はされたのか。

されるか。

文化課長 この墓については江戸時代に造られた

商工観光課長 地域の誇りである貴重な文化財

を、文化課と連携を図りながら活用することで検討していきたい。

りである貴重な文化財を、文化課と連携を図りながら活用することで検討していきたい。

の整備をしたらどうかの助言をした。

富永 市民

の間に、地域の歴史・文化遺産を大切にすることを意識を涵養（かんよう）することが大事だといえるのは理解



▲石の門柱を土中に残したまま整備された宗胤夫妻の墓



中島 正樹

定住・移住対策は十分か。

市長

更なる研究を重ねていく。

中島 市の定住・移住対策のこれまでににおける人口増の成果と課題は。

市長 平成24年度から26年度までで149件3、998万円の奨励金を交付している。一定の成果はあがったと思うが、人口の自然減や社会減が著しく、現行の事業による増加は限界があるというふうに思う。今後は、社会資本の整備や住環境の整備、また教育環境の整備に加えて、雇用面や子育て支援などにおいても魅力ある定住対策を行うべきと思う。

課長 10年前と比べて10%以上人口減少している地区は、小城45地区、三日月14地区、牛津12地区、芦刈19地区。

中島 そういった地区にも目を向けた施策を講じていくべきだと考えるが。

課長 現在のままでは一律に解決を図るというのは難しいという認識を持っている。

中島 市内行政区に顕著に人口減、世帯減が見られる地区は。

る。

申請月	奨励金額	市外→市内		市内→市内		計	
		世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数
H24計	11,640,000	39世帯	120人	14世帯	41人	53世帯	161人
H25計	18,250,000	48世帯	155人	17世帯	50人	65世帯	205人
H26計	10,090,000	35世帯	109人	3世帯	32人	38世帯	141人
H24~26合計	39,980,000	122世帯	384人	34世帯	123人	156世帯	507人

▲定住奨励金および三世帯同居奨励金の実績

その他の質問

○下水道事業の接続率に
関して。



松並 陽一

今後の一般会計の
見通しは

市長
歳入も厳しくなるため、
歳出を精査していく

松並 一般会計額が220億円にも膨らむ要因は。

総務部長 合併してから

現在まで、学校や庁舎の建設などのハード整備があった一方で、「強い農業づくり交付金事業」など、市の一般会計を經由してそのまま出ていく予算も多い。

松並 26年3月に示された「新市建設計画の変更」

では歳出額は28年度183億円、29年度189億円となっているが、現実と乖離している理由は。

総務部長 地方創生の取

り組みやふるさと納税など、国の制度や考え方が

大きく変わったことなどが理由である。

子どものスマホ利用

松並 市内の子どもの所持の状況は。

教育長 28年4月の調査

では、小学校6年生の65%、中学3年生の82%が所持しており、年々増加している。

松並 子どものスマホの

過度な利用は成長と学力に悪影響があると思われるが、条例などで規制する考えは。

教育長 今すぐには難し

(単位：億円)

	平成17年度	19年度	21年度	23年度	25年度	27年度
民生費	38.4	39.5	39.5	48.5	53.8	58.6
衛生費	15.1	15.1	18.8	20.7	21.4	21.9
土木費	10.9	7.7	9.9	14.1	14.9	18.9
公債費 (借金返済)	15.5	20.3	21.5	29.5	25.1	29.4
一般会計合計	153.7	158.3	183.4	201.8	208.7	221.6

▲増額傾向にある一般会計歳出の主な内容

いが、検討していく必要がある。



香月チエミ

部活の教師の
多忙化改善の取り組みは

教育長
国の方向性を踏まえ
よりよい部活動に取り組む

香月 ①学校教育における部活動の位置付けは。

- ②生徒の状況は。
- ③教師の状況は。
- ④今後の方向性は。

教育長

①教育課程外(教科ではない)だが、学校教育の一環として重要な活動と位置付けられている。しかし、中身はあくまでも生徒の自主的、自発的な活動であるとする二面性がある。

②生徒の加入率は約76%。休養日は原則として、土・日曜日のいずれか。また、毎週月曜日、第3日曜日を設定し運用している。

③課題として、平日や休日の指導で多忙感を感じている状況にはある。複数顧問制をとっており、外部指導者に協力を得ている学校が2校、7名。教職員の特殊勤務手当として、

土・日曜日4時間以上で3千円の支給。

④本年6月の文科省通達では、「適正・適切な休養を伴わない行き過ぎた活動は、教員、生徒ともに様々な無理や弊害を生む」とされた。また、16年ぶりに部活の全国実態調査を実施し、それ

をもとに平成29年度にガイドラインが作成される。部活動の持つメリットを最大限生かすよう取り組む。

その他の質問

○住宅の耐震化の取り組みなど



▲部活動で汗を流す(三日月中)



▲小学校での実技による交通安全教室の様子

内容①自他の命を守る交通安全の推進②防災対応能力の向上を図る③防災安全の推進④不審者対応などの防犯。熱中症予防、学校での事故防止等生活安全の推進などの方針を策定し、各学校で取り組んでいる。特に交通

- 市長による通学路の視察について
- 総合戦略の地域を磨く小城づくりについて
- 6月大雨の被害と復旧

その他の質問

学校教育課長 保護者が購入すべきものと考えている。

光岡 ヘルメット購入代金の補助の考えは。



光岡 実

子ども達の安全対策は万全か

実効ある学校安全の推進を行っている

光岡 子ども達の安全対策の取り組みは。

ニユアル、安全マップの作成について、実効ある学校安全の推進を行っている。

安全教育については、特別活動の時間を使って、体験を通して学ぶようにしている。さらに、通学路についても、小城市通学路安全推進会議で審議され、対応している。



江島佐知子

時代を見据えた観光行政の推進を

観光協会や周辺市町との連携で推進する

江島 小城市の観光について

- ①現状と課題は。
- ②観光協会の役割と剰余金について。
- ③観光プラン策定についての考え方。

ているが、宿泊施設が少なく短期滞在になっっている。佐賀空港を利用したアジアからの団体客や小規模の観光客に向けて、中部広域連合域内の連携やネット関係の活用が必要と考えている。

千万円の剰余金が出るが、観光振興のために役立てるよう協議をしている。

市長 ①季節ごとのイベントや食、史跡等へ年間約46万人の観光客が訪れる

②観光振興について民間感覚を活かした取り組みや協議がされている。

江島 立地適正化計画で目指す小城市の未来像と「アイル資源磨き構想」との関係は。



▶毎年約2万人の人出で賑わう清水竹灯り

外国人観光客に向けたDVなども作成している。ふるさと納税の業務で、法人税等を除けば約8

市長 コンパクトシティ・プラス・ネットワークと健康をテーマにしたまちづくりの整合性を持って取り組む。

議員発議で 議会改革特別委員会を設置

議員定数等協議始まる

議会改革検討
委員会
2年半の協議

議会改革については、改選後の議員で構成する議会改革検討委員会（11人）を平成26年4月に設置し、これまで鳥栖市議会・神崎市議会への視察などを含め19回の委員会を開催。この中で、議会



▶28年5月議会改革検討委員会での神崎市議会視察

基本条例の改正や活発な委員会活動の具体的な提案、決算審査の指摘事項が新年度予算に反映できるように9月定例会で認定採決を行うことなどを決定。

議会改革特別
委員会での協議

なお、議場へのパソコンの持ち込みやタブレット端末導入については引き続き検討。残る検討課題は議員

定数となり、全議員にアンケートを実施し、これをもとに特別委員会を設置し、12月議会を目標に結論を出すこととした。

特別委員会設置にあ

たっては、今後の市の行政運営を見据えた中で、議会の構成を含め議員定数等について、小城市議会基本条例を尊重し、専門的かつ集中して調査・研究を進めるため、12人の議員で構成する議会改革特別委員会が議員発議で9月議会に於いて設置された。

議会改革特別委員会の委員長に北島文孝議員、副委員長に岸川英樹議員を選出した。

この特別委員会では、次の4件について議論することとした。

- 1、議員定数について
- 2、議員報酬について
- 3、政務活動費について
- 4、費用弁償について

議会改革特別委員会委員 12人

委員名		
◎	北島文孝	
○	岸川英樹	
	松並陽一	
	永淵和正	
	光岡実	
	富永正樹	
	諸泉定次	
	中島正樹	
	上瀧政登	
	香月チエミ	
	松尾義幸	
	下村仁司	

◎：委員長 ○：副委員長



▲議会改革特別委員会での審議

各分野での活発なやり取り

ゆめぷらっと小城市は

問 何の目的のためにつくられたのかわからない。

答 「ゆめぷらっと」は公民館の合築変更や、人件費、資材の高騰などで23億9,700万円になり、また、変更で現在の金額になっている。早い段階で変更の決定がなされているが、何ら議会に報告がなく不愉快な思いをした。工程会議には職員が出席していると聞くが、その内容を上司、課内での協議がなかったということは、今後の反省点であり、しっかりと対応して行くべきである。

問 元々の計画段階から約3倍に工費が膨れ上がったと聞いた。当初計画の金額はいくらだったのか。また、なぜこんなことになったのか。

答 最初は交流センターということで、金額は8億円くらいだったと記憶している。計画段階で、別途に小城市公民館の老朽化により雨漏り等がしていたことから建て替えの話があった。交流センターを作って、また20億円使って小城市公民館を建てる

よりも交流センターに公民館機能を組み込むことにより、その当時の試算で16億円程度に抑えることができるとして、議会としてもこれを可決した。その後

に資機材や人件費の高騰があり約4億円の追加になったということで議会への提案があった。その時も議会で追及したが、最終的に調査した結果、値上がり分は妥当な額であると判断し、交流センターと公民館を別々に建てるよりも効率的という判断から可決した。それが済んだあとで工費に約2,700万円の不足が生じていることを、上司に報告しないで工事が終わり、引き渡しがあった後に発覚した。通常では引き渡しが行われる前に議会に諮るべきことであつたが市長も全然知らなかったという話だった。議会の中で、市長は必ず調査をして議会に報告するとの説明であつたので、実際、工費はかかっていくし真相解明も約束したことか

ら議会としては追認という形で賛成多数で可決した。その時点で、再発防止のためのマニュアルを作成していることであつたので、作成したら議会にも提示

があるように申し出をした。



問 底の追加工事は設計ミス。市が支払うべきものじゃない。なぜこの設計会社を選んだのか。

答 設計会社選定の経緯経過は、プロポーザル方式で幅広く色々な方の意見や提案を受けたということ。3業者の応募があり、小城市公民館の大会議室において、一般の方々にもオープンにして提案をされた。外部の選考委員も入れ、業者名を伏せた形で採点を行った結果、当該設計会社を選定された。

問 収容人員が500人となっているが駐車場が全然足りない。大きなイベント時と

かは大丈夫か。また、小城市が補助金を出している各サークル等がイベントするときはなるべく「ゆめぷらっと」を使うように通達が来ていると聞くが、そういう講演会等のイベントは4町を回すべき。

答 議会としてもゆめぷらっとと駐車場については何度となく質問しているが、執行部からの答弁は今の小城市公民館の駐車場を利用していただきたいとの一点張り。イベントの時は周りの地区の駐車場にお願いをして停めさせていただくことにしている。講演会等のイベントの開催については、4町をうまく回してバランスのとれたイベントを開催することを執行部に強く要望していく。

西九州大学地域
看護学部誘致は

問 小城市にもつてくる理由は何か。どのようなメリットがあるのか。

答 メリットとしては、中心市街地の活性化、高齢者社会での看護の重要性などがある。小城市内で勉強した人ができる限り小城市内で小城市民のために役立ってもらおう。また、360名の学生と

議会報告会を開催

7月27・28日、市内4か所において4回目の議会報告会を開催し、63名の方々にご参加いただきました。会場において出された意見、質疑、アンケートから掲載しました。一部は、後日、執行部に確認を行い、加筆修正したものもあります。

約40名の教員で経済効果は執行部の試算で年間約8億円あると聞く。また、若い人の交流でまちの活性化が図れるということも期待している。

問 西九州大学への小城市の持ち出しはこれで終わりなのか。

答 大学としては19億8千万円の計画がある。6月議会では7億5,735万円を支援するということでの債務負担行為を可決している。あと別に大学誘致周辺環境整備

で事業費は1億4,236万円かかる。他にブルー用地の取得に7,815万円かかるので、大学関係全体で9億7,787万円が現時点での大学誘致に伴う財政負担となっている。

問 わざわざあんな狭いところではなく、他の場所でもよかつたのではないか。

答 執行部は、中心市街地を整備していく中において、文教地区ということで大学を入れていく

考え方であった。ご指摘の通り、議会でも、もう少し広い場所もあるのではという意見も多く出た。小城市の運動公園の跡地、牛津の庁舎跡地もあつた。色々議論はしたが、中心市街地の活性化を図っていくという執行部の考え方の中で現在地に

なつたとの説明を受けた。

防災・避難所は

問 防災無線が聞こえない。4月に区長から連絡してもらい8月にやつと対応してもらつたことになっている。牛津町の避難場所が一番低い公民館になつている。なぜ避難場所になつているのか防災対策課にいつても改善されてない。住民が何に困つているのか、積極的に対応してもらいたい。

答 防災無線が聞こえない件は委員会審議でも取り上げたがまだ充分ではないと思つている。避難場所については、堤防が決壊まではしないけれども避難しなければならぬ場合は公民館は有効だと思つた。避難場所等については防災会議のなかで詰つて検討することになるというところで若干時間がかかるということをご理解いただきたい。

道路・交通は

問 時間的に利用しづらい巡回バスの運行表を誰がどのようにして決めてるのか。

答 小城市公共交通協議会の中で巡回バスの運行について協議されている。地域性があることからベストではないがよりベターなコースづくりとなつている。乗車率等の問題はあるので議会の中で質疑があつたがこれといった解決策はなく、今後の課題ということで執行部とも協議していく。

問 牛津駅から新町、砥川大橋、砥川町を過ぎる34号線に合流する県道が、市道になつたら、橋の修理はどこがするのか。

答 砥川大橋を管理するとすると財政的負担が大きいのではないかと、水害の危険性があるとか、色々な意見があつたが、可決した。橋は市が管理することになる。

問 スマートインタチェンジに接続する道路

の拡幅に反対の住民がおられ、村の真ん中を通すのではなくて人里離れたバイパスにしてほしいという意見が、今頃になつて出てきている。生活環境を考えると、騒音、振動で安眠もできないのもう一度検討していただいたらありがたい。スマートインタチェンジのための買収も終わつてないのに見切り発車のような工事を行つていて疑問を持つている。

答 スマートインタチェンジの道路拡幅は県道なので県の事業で市の担当者がお手伝いをしていと思つていた。地域からも一部要望が出ていると聞いている。

問 アイル資源磨き構想は

答 構想の方向性については、どうなつているのか。

答 平成27年度中にワークショップ方式での市民会議やパブリックコメントにより、市民の意見を取り入れながら基本

構想を策定している。平成28年度は基本構想をもとに基本計画を策定することになつている。計画策定については、PFI、PPPなどによる官民連携手法が導入可能かどうかを調査するというところで、国土交通省の先導的官民連携支援事業の補助を受けながら基本計画を策定することになる。市民から出された意見は、できるもの、できないものがあると思定し、今後基本計画を策定していくなかで意見を共有し、材料としていくと執行部から説明を受けている。

問 小城市の運動公園跡地は

問 用地はどうなつているのか。

答 土地開発基金でその土地を取得しているの、それを一旦一般財源で買戻しておかなければならぬものをしてなかつたので、今、随時買戻しを行つているところ。現在半分ほど買戻している。



「第2次小城市総合計画の基本構想及び基本計画」を可決

これからの新たな時代にふさわしいまちづくりを実現するための指針として、小城市総合計画策定条例第3号の規定に基づき、平成29年度から37年度を期間とする第2次小城市総合計画の基本構想と基本計画を賛成多数で可決した。市民アンケート調査や、まちづくり市民会議を元に、市の目指す将来像を「誇郷幸輝～みんなの笑顔が輝き 幸せを感じる ふるさと小城市～」とするものである。柱となる10の政策（①住環境 ②交通 ③自然・歴史・文化 ④健康・スポーツ ⑤高齢者・福祉 ⑥子育て・教育 ⑦産業・雇用 ⑧地域活性化 ⑨観光・広報 ⑩安全・安心）は33の施策に細分化され、それぞれに対象、意図、基本事業、成果指標が設定されている。

議員からは、一般質問、議案質疑、勉強会において、多くの質問や質疑がされており、その内容は以下の通りである。

問 平成20年に策定された「小城市総合計画後期計画」の検証結果と、それを今回どう生かしたか。

答 施策の評価や事務事業優先評価を通して、まちづくりの課題を抽出し新たに目標値設定に反映させることで、第2次総合計画に生かしている。

問 市長自身の考えや思いは、どう反映されているか。

答 基本構想には、市民が小城市に誇りを持ち、元気で幸福感を持ってもらいたいという思いが込められている。(市長が)これまで考えてきたことが、10の政策やそれぞれの施策にある程度網羅されている。

問 人口減少社会を見据えた施策は、具体的にどの部分か。

答 今回策定した総合計画の下に位置する総合戦略の中で、具体的に示していきたい。

問 市民アンケートによると、まちづくりで力を入れるべきところの1位は「就労の場の拡充」であるが、どのように

とらえているか。

答 引き続き企業誘致を進めていく必要があると考える。一方で、県都である佐賀市で就労してもらう環境を整えることも重要である。

問 市民アンケートそのものが、この基本計画に反映されていないのではないか。

答 アンケートで満足度が低い項目を解消するための方向性を基本計画の政策で示しており、具体的な事務事業については、アンケートを元に検討していく。

問 産業関係の目

標値の設定について、漁業出荷額は増加している一方で、農業収入額は減少しているが、その理由は。

答 農地の集約化、TPP、米の価格の低迷などにより、農業収入額は減少すると見込んでいる。



▲まちづくり市民会議での議論の様子

お知らせ

第4回定例会の予定

12月1日(木)	定例会《開会》
5日(月)	一般質問
6日(火)	一般質問
7日(水)	一般質問
8日(木)	一般質問
9日(金)	議案質疑
12日(月)	議案質疑
13日(火)	総務常任委員会
14日(水)	産業建設常任委員会
15日(木)	文教厚生常任委員会
20日(火)	討論・採決《閉会》

(※日程など都合により変更になる場合もあります。)

議員活動あれこれ

佐賀県市議会

議員研修会

(7月29日)



消防団夏季訓練

(8月21日)



有明海クリーンアップ作戦

(8月24日)



表紙の紹介

丁永遺跡出土、
刻書紡錘車

(六四八年)

(寸法)

直径4.58cm

厚さ0.75cm

孔径0.77cm

重量27.5g

〈小城市立歴史資料館蔵、市重要文化財〉
平成20年12月22日指定

平成19年度から20年度にわたった小城中学校改築での調査から出土したもので、遺跡名は丁永遺跡。円盤型の片状蛇紋岩製の中央部に穴を開け、糸巻き棒を通して繊維に撚りをかける際に使われた弾み車である。丁亥年六月十二日、提十□□①「丁亥年六月十二日、亦提と(う)まろ、②丁亥年六月十二日、赤提と(う)まろ」と二通りに読める文字が彫られ、

六朝風の字体の特徴を遺し、飛鳥・藤原宮跡出土の7世紀代の木簡や、法隆寺に伝来した文書にみえる文字とも共通していると考察されている。又、記載内容・書式から関東地方出土のものと同通していることから、何らかの祭祀・信仰儀礼等にかかわって文字が記されたと考えられる。この紡錘車がなぜ小城の地で出土したかについては、東国からの移住者や防人として派遣された人々の存在が考えられる説と、形状等から東国等からの搬入品というより在地で製作されたものという二説に分かれている。いずれにしても、紀年銘のある紡錘車は全国で5例しかなく、その中でも一番古いもので貴重な文化財であることには変わらない。

地域の学び舎

小城市立

うしづ

牛津中学校

創立 昭和35年5月 牛津・砥川両中学校統合により校名を牛津町立牛津中学校と称す

生徒数 292名(男子157名、女子135名)

学校教育目標

『確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成』
夢の実現のために明るく活気に満ちた学校創りを目指して

目指す学校像

- 信頼される学校
- 特色ある学校
- 明るく元気な学校

目指す生徒像

- 自ら学び、考え、判断する生徒
- 礼儀正しく、思いやりのある生徒
- 心身ともに逞しい生徒

目指す教師像

- 協働する教師
- 教育愛に燃える教師
- 人間力を高める教師

校訓

- 英知：** 勉強に励み真に役立つ知識を身につける。
- 敬愛：** 人間を愛し人を敬い、思いやりの心を育てる。
- 練磨：** 心を磨き体を鍛える。



主な行事・事業

- ◆ 5月 修学旅行
- ◆ 5月 スケッチ会
- ◆ 8月 2年職場体験
- ◆ 8月 3年サマースクール
- ◆ 9月 体育大会
- ◆ 10月 津拓祭
- ◆ 2月 百人一首大会
- ◆ 2月 避難訓練

牛津中学校 校歌

一、紫煙のかすみ 朝日に映えて
大いなるかな 天山は
若き血潮を たぎらせて
高き望みを うちたてん

二、黄金色の波 広ぼうとして
豊かに流るる 牛津川
幸の筑紫野 逍遙し
寛き心を 養わん

三、緑の山河 歴史を秘めて
つとに開けし わが郷土
夢はるかなる 学び舎に
深きまことを 究めなん

編集後記

心配されていた台風被害も少なく、佐賀平野は収穫の秋を迎えている。本号では7月に開かれた4回目の議会報告会での質疑応答及び、今定例会で審査された決算特別委員会での決算報告を併せて収録した。議会側と市執行部の

P(プラン・計画)
D(Do・実行)
C(Check・評価)
A(Action・改善)
の循環を好転させ、次年度の予算や活動へ反映させるためにも、報告会と決算特別委員会は大事なものと考える。本紙が市民の皆様と議会との架け橋となるよう今後も一層力を入れていく所存である。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

- | | | |
|------|------|-----|
| 委員長 | 永 測 | 和 正 |
| 副委員長 | 松 並 | 陽 一 |
| 委員 | 富 永 | 正 樹 |
| | 諸 泉 | 定 次 |
| | 松 尾 | 義 幸 |
| | 堤 克彦 | |

編集・発行 ▷ 小城市議会広報編集特別委員会

〒845-8511 佐賀県小城市三日月町長神田2312-2
〈小城市ホームページ www.city.ogi.lg.jp〉

☎0952-37-6133(直) FAX 0952-37-6168